

## 保護者の皆様へ

4月17日(金)の夕方に鈴鹿市より「新型コロナウイルス感染拡大防止のための登園自粛による家庭保育へのご協力をお願い」が出されて、一週間になります。保護者の皆様には、それぞれの職場の状況等に応じて、ご協力を頂いているおかげで、ながさわ保育園では全園児のうちの約20%の子どもたちが、登園自粛をしてくれています。

ご家庭での保育についてはお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんなどで協力体制を作りながら日々お過ごし頂いているかと思います。しかしながら、この家庭保育についても長丁場になればなるほど、ご家庭への負担も相当大きくなるだろうと想像しています。そのような中でも、早くから長期の登園自粛を決めて下さった保護者の方々に、保育園として何かできないだろうかと考え、ながさわ保育園では保育士数名による「家庭保育支援チーム」を結成しました。今週(それ以前含む)から長期の登園自粛を決めて下さったご家庭に、ささやかではありますが、「家庭保育支援チーム」より封筒が届くかと思います。是非、家庭保育の中でご活用頂ければと思います。

また一方で、そのような中でも医療、介護福祉をはじめとした社会インフラ関係に従事されている保護者の皆様については、感染リスクの最前線に晒(さら)されながら、日々勤務されていることと思います。このような職に就かれている保護者にとっては、当然仕事をお休みしたくてもできない環境下であり、保育園が機能しているからこそ成り立っているのだと思います。もし保育園に感染者が出てしまうような事態になれば、そういった医療従事者の方々が勤務に就けなくなり、たちまち医療崩壊に繋がりがかねません。そうならないためにも保育園では日々、感染予防に最大限の注意を払いながら保育を続けていきますので、保護者の皆様にはご理解ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

また、引き続き登園されている子どもたちに対しても、これまでと変わらず、保育の質を維持しながら、お預かりさせて頂きますので、登園自粛の難しいご家庭の保護者の皆様はどうぞご安心してお子様をお預け下さい。

この国難とも言える事態が一日も早く収束し、子どもたちの笑顔とともに日常が戻ってくること、ながさわ保育園の子どもたちがみんな揃って元気に登園できる日が一日でも早く実現することを職員一同、祈念しています。

令和2年4月24日(金)  
ながさわ保育園  
園長 中瀬弦偉